

2022年10月12日

中信ビジネスフェア2022

廃車・廃プラ・下水汚泥の〈炭化〉有効利用でCO2削減
ブルーカーボン技術について朝日放送取材の様子

2022年11月10日_午前10時22分~「キニナリーノ」内にて放映。



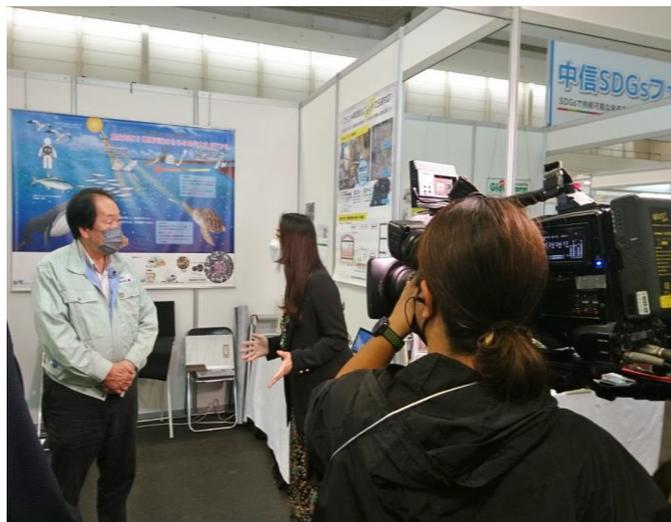
株式会社 大木工藝
<http://ohki-techno.com/>

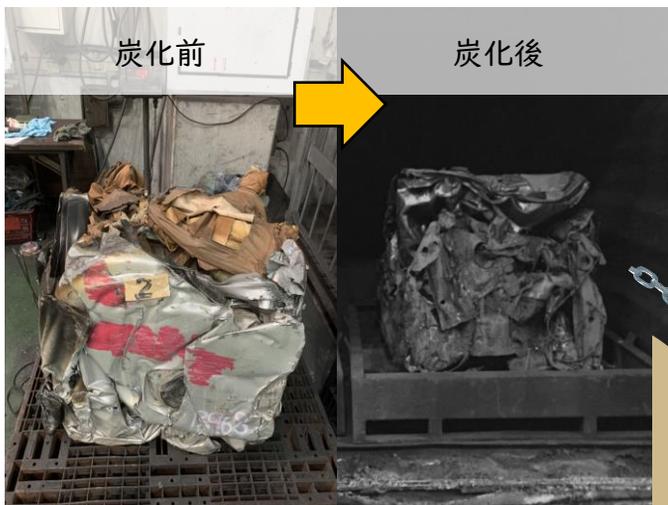


(株)大木工藝_大木社長

中信ビジネスフェア2022、大木工藝ブースにて「廃車・廃プラ・下水汚泥の炭化と有効利用でCO2削減ブルーカーボン技術」について朝日放送様 取材の様子。
2022年11月10日_午前10時22分~「キナリーノ」にて放映。

2022年10月12日





廃車を人工漁礁に活用／日光を吸収 熱交換塗料

環境対応の製品・技術PR

京都中央信用金庫の取引先企業による展示商談会「中信ビジネスフェア」が12日、京都市伏見区の京都パルスプラザで始まった。温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラルや脱プラスチックなどの環境対応が加速する中、ものづくりや食品といった幅広い分野の企業が、関連する製品やサービスなどをアピールした。13日まで。

中信ビジネスフェア始まる

フェアは地元企業の交流を目的に京都中央信用金庫と中信サクセスクラブが毎年主催している。今年テーマは「SDGs」で、34回目で、昨年に続き、オンラインでも行い、約



中信ビジネスフェアの会場に並ぶ企業や団体の出展ブース(京都市伏見区・京都パルスプラザ)



廃車を人工漁礁に有効活用するプロジェクトについて説明する大木工藝の社長

ものづくり・食品 取引先の300社・団体

つ技術や製品を集めたエリアを特設した。炭素素材を手掛ける大木工藝(大津市)は、特殊な炭化炉でプラスチックごみから製造した高機能活性炭が原料の電気自動車向け電極材などを展示。車のプラスチックや塗料などの廃材を炭化させ、海中でコンブなどの海藻が育つ人工漁礁として活用するプロジェクトについても来場者に紹介した。

日光を吸収、分散させて室内を快適に保つ外壁用などの「熱交換塗料」をPRしたのは、塗装施工のハミオテック(宇治市)。ウクライナ危機と為替の円安進行に伴いエネルギー価格が上昇する中、林三夫社長は「電気代の節約になって環境にも優しいため、引き合いが増している」と話した。新型コロナウイルス禍の長期化に伴う生活様式の変化を踏まえた製品の展示も目立った。吸音製品を製造販売するドリックス(京都市中京区)はウエブ会議用の防音ブースを置いたほか、精肉チエーンの「やまむらや」(長岡京市)は牛肉の冷凍自販機を展示し、来場者の注目を集めた。オンライン展示は出展企業の情報などを紹介し、31日まで続ける。(北川裕猛)

■ 京都新聞社様にも中信ビジネスフェア2022の様子を掲載頂きました。

世界は脱(低)炭素・カーボンニュートラルに向け動き出しています。企業はCO2削減のための対策を何が何でも行う必要があります、しなければ生き残れません。



炭素研究開発型製造業
株式会社 大木工藝
http://ohki-techno.com/



株式会社 大木工藝は
持続可能な開発目標
(SDGs)を応援しています。



経済産業省より
地域未来牽引企業に
2017年認定

地域未来牽引企業